

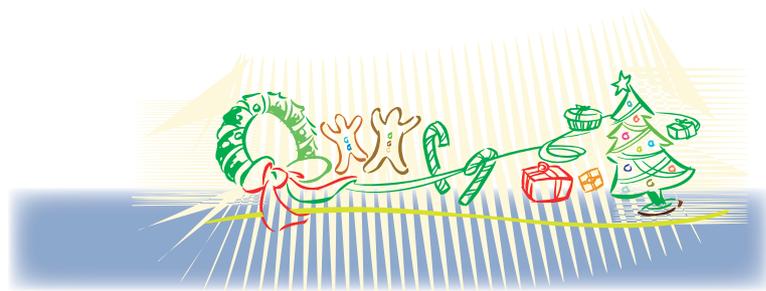
CONTENTS

特集
Special Features

知能ロボットの技術： 人工知能からのアプローチ（後編）

Robotics Based on AI Technology

- 1212** 編集にあたって 小暮 潔・天野真家
Foreword Kiyoshi KOGURE (ATR Intelligent Robotics and Communication Labs.) and Shinya AMANO (Toshiba Corp.)
- 1214** 人とロボットの意思疎通 西田豊明
Communicative Robots Toyoaki NISHIDA (The Univ. of Tokyo)
- 1221** ロボットの注意機構と発話生成そして身体表現 今井倫太
An Attention Mechanism, Utterance Generation, and Physical Expressions in Human-robot Interaction Michita IMAI (Keio Univ.)
- 1227** 人とロボットとの触覚インタラクション 納谷 太・篠沢一彦・小暮 潔
Human-Robot Tactile Interaction Futoshi NAYA, Kazuhiko SHINOZAWA and Kiyoshi KOGURE (ATR Intelligent Robotics and Communication Labs.)
- 1233** ロボットの社会的知能 片桐恭弘
Robots with Social Intelligence Yasuhiro KATAGIRI (ATR Media Information Science Labs.)
- 1239** ロボットの多言語使用の課題と現状－通訳ロボット－ 飯田 仁・天野真家
Multilingual Robot; Its State of the Art Hitoshi IIDA (Tokyo Univ. of Technology) and Shinya AMANO (Toshiba Corp.)
- 1247** ロボットとの会話－人工知能からのアプローチ－ 田中穂積・徳永健伸
Talking to Robots - From a Viewpoint of Artificial Intelligence - Hozumi TANAKA and Takenobu TOKUNAGA (Tokyo Institute of Technology)

解説
Articles

- 1253** 情報技術と航空の共進化：グローバルな航空ITネットワークの形成 青山幹雄
Coevolution of Information Technology and Aviation: Emergence of Global Aviation IT Network Mikio AOYAMA (Nanzan Univ.)

- 1260 プログラム・プロムナード 穴を覆う蓋** 和田英一
Program Promenade : Covering Whole Holes Eiiti WADA (IITJ Research Lab.)
- 1269 とっきよ Now ! 紛争解決の最前線** 山田洋一
Patent Now ! : Front of Dispute Settlement Yoichi YAMADA (Japan Patent Office)
- 1276 日本の情報処理技術の足跡** 日本語情報処理の諸相 : 日本語情報検索技術の系譜
藤澤浩道・絹川博之
The Trail of the Information Processing Technology in Japan : Topics on the Japanese Processing Technologies: A History of Japanese Information Retrieval Technologies Hiromichi FUJISAWA (Hitachi, Ltd.) and Hiroshi KINUKAWA (Tokyo Denki Univ.)

- 1275 情報技術と教育 伝統的基礎学問** 川合 慧
Information Technology and Education : Traditionally Fundamental Studies Satoru KAWAI (The Univ. of Tokyo)
- 1284 日本のIT事情 情報社会におけるディスコミュニケーション体系について** 矢野直明
Information Technology in Japan : Discommunication in the Information Society Naoaki YANO (CyberLiteracyLab / Meiji Univ.)
- 1286 20世紀の名著名論** Prominent Books and Articles in the 20th Century
Marvin Minsky : A Framework for Representing Knowledge 松原 仁
Marvin Minsky : A Framework for Representing Knowledge Hitoshi MATSUBARA (Future Univ.-Hakodate)
- 1287 20世紀の名著名論** Prominent Books and Articles in the 20th Century
Pierce, J., Carroll, J., Hamp, E., Hays, D., Hockett, C., Oettinger, A., Perlis, A. : Language and Machines: Computers in Translation and Linguistics 黒橋禎夫
Pierce, J., Carroll, J., Hamp, E., Hays, D., Hockett, C., Oettinger, A., Perlis, A. : Language and Machines: Computers in Translation and Linguistics Sadao KUROHASHI (The Univ. of Tokyo)
- 1288 モバイルは今 SSHによるポート転送** 楯岡孝道
Mobile Technologies, Now : Port Forwarding Over SSH Takamichi TATEOKA (The Univ. of Electro-Communications)
- 1290 アメリカITまわりの話題 ソフトウェアと事業性** 藤崎哲之助
IT Topics in the US : Software and Business Opportunity Tetsu FUJISAKI (Collabo-Technology, Inc.)

- 1294 情報システムの実際** 情報システムと情報技術事典編集委員会 編, 培風館

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1292 著者紹介一覧 | 1304 有料会告 |
| 1293 おふいすらん | 1307 おふいすらん |
| 1296 会員の広場 | 1308 アンケート用紙 |
| 1298 IPSJ カレンダー | 1309 編集室/次号予定目次 |
| 1299 第46回臨時総会の開催について | 1310 掲載広告カタログ・資料請求用紙 |
| 1300 有料会告について | 巻末 「情報処理」第44巻総目次 |
| 1301 人材募集 | |



編集系独白

本誌が届く頃の12月17日、飛行機は100年の歴史を刻む。大昔と感ずる日露戦争の前年に初飛行した。日露戦争の勝利から太平洋戦争の敗戦まで(長いようで)40年と司馬遼太郎。来年1月のプログラミング・シンポジウムは第45回。(短いようで)45年になる。では100年は? まこと「時のおなかは蛇腹(堀口大学)」だ。自称飛行機マニアの青山幹雄が「情報技術と航空の共進化」を寄せた。一昨年夏、ロンドン出張の折、飛行中のコクピットを見学した。パイロット氏いわく、離陸前のオートパイロットのデータ入力が大仕事で、飛べば暇だと。

特集は「知能ロボットの技術:人工知能からのアプローチ(後編)」でエディタは天野真家と小暮潔。自動販売機が声を出すのも不気味だが、ロボットから挨拶されてもまごつこう。森政弘のいう「不気味の谷」だ。ロボットがロボットロボットしてはいけなないか。

藤崎哲之助の「ソフトウェアと事業性」(アメリカIT)を読むと、最近の起業には適切なソフトウェアが不可欠であるらしい。いわずもがな。

歴史の連載は「日本語情報検索技術の系譜」(藤澤浩道, 絹川博之)を掲載した。情報検索の研究開始は早い。パイロット研究ではうまく行くものの、実用になる程度の本名を集めると途端に遅くなって実用にならぬといわれていた(よくあることだ)。いわゆる量的変化が質的变化をもたらすというのの典型である。この記事はその克服の歴史と思えばよい。

量的変化の質的变化は川合慧の説く「伝統的基礎学問」(情報技術と教育)の冒頭にも登場す。情報教育が伝統的? 基礎学問? 愚意はしからず。先端的应用術に他ならぬ。

とっきよNow!の連載は「紛争解決の最前線」(山田洋一)で、異議申立てと無効審判の制度が改正になった経緯と改正の要点が述べてある。われわれ情報屋には有名なKarmarkar特許の異議申立ての例が書いてあればもう少し読み易かったかのではと残念に思う。

某社が「なんとら100冊」(石田晴久編)を出す。本誌も気を抜かず頑張ろう。名著名論は松原仁がフレーム理論を紹介。その原著者、Marvin MinskyはFIT2003で来日した。編集子は東京で再会し話を聞いたが、また何か考えているらしい。次は黒橋禎夫の機械翻訳の現状調査報告で、この書は特集のロボットとの会話の記事にも登場する。ロボット語は外国語なり。

矢野直明のゴミシリーズ(?)「情報社会におけるディスコミュニケーション体系について」で釈然とせぬこと多しと宣うが、気にしていたら暮せぬ。コールセンターは繋がらぬものと見つけたり。夜9時の鎌倉と思いきや、写真の列車番号は1408らしく、午後2時頃の光景か。

榎岡孝道によるモバイルの話題は「SSHによるポート転送」。週の半分は自宅のパソコンで仕事している編集子は、勤務先のホストにsshサーバ経由で接続するが、このssh-1を使うトンネルの掘り方(張るともいうが)にも間々お世話になっている。

プロムナードは和田英一による「穴を覆う蓋」。穴と蓋、それぞれの輪郭の形から、この蓋でこの穴が完全に覆えるか判定する。目でみれば一目瞭然なのに、計算機では面倒なような問題には発想の次々の転換がある。今年の会津のコンテストではまた中国勢が優勝す。(味)



会誌編集委員会

編集長

和田 英一

担当理事

丸山 宏

田中 穂積

本号エディタ

天野 真家

菊田 泰代

小暮 潔

坂井 修一

前田 敦司

森川 直人

安信千津子

山崎 憲一

編集スタッフ

後路 啓子

湯本 祐子

綿谷 亜樹

■ 44巻12号掲載広告目次(五十音順)

インタフェース…………… 前付4
エクセルソフト…………… 表2対向
エッチ・アイ・ティー …… 表4
オーム社…………… 前付3
キャリアデザインセンター… 前付7
共立出版…………… 前付2
近代科学社…………… 前付6上

サイエンス社…………… 前付8,9
ソフト・リサーチ・センター 前付6下
テクノレヴュー…………… 目次前
ニフティ…………… 前付5
培風館…………… 前付最終上
ビジュアルテクノロジー… 表2

*掲載広告のカタログ・資料をご希望の方は、お名前、電話番号、勤務先または学校名を明記の上、E-mailまたはFaxにてご請求ください。

広告総代理店 (株) 精機通信社
E-mail:sei@ss-com.co.jp
Fax(03)3368-1519

